

ひだりから よんでみて、  
 あいている ところを かきいれよう。



お	こ			と			ほ			よ		
---	---	--	--	---	--	--	---	--	--	---	--	--

え			せ			ね			め			え
---	--	--	---	--	--	---	--	--	---	--	--	---

		か			た			は	ま		ら	
--	--	---	--	--	---	--	--	---	---	--	---	--

い	き				に			み	い		
---	---	--	--	--	---	--	--	---	---	--	--

			す	つ			ふ			る	う
--	--	--	---	---	--	--	---	--	--	---	---

1) 五十音の段であることに気づかせ、声に出して言わせる。  
 2) なぞり書きと、ブランクの埋め書き。  
 3) 筆順の要所に注意。

a) 五十音の段をさらに覚えて口に出して唱えられるように準備する。  
 b) 五十音と段のもつ順序性や位置付けの機能は、さまざまな学習場面で道具や枠組みとして働く。

Date  
 Note  
 評

